

事務事業評価表 平成22年度

政策 明日につながる産業の振興
 施策 就業環境の整備
 基本事業 就業機会の確保

事業名 **緊急雇用創出事業（消防水利防錆塗装事業）**

[0912]

部名	消防	事業開始年度	平成21年度	実施計画事業認定	非対象
課名	消防課	事業終了年度	平成23年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>江別市内に設置されている公設消防水利。</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>この事業により 市内の雇用を創出する。</p>
	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>水利状況調査、錆取り 既塗装剥離、標識取外し及び取付け、防錆処理、上塗装。</p>
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	消防水利数	基			630	630
対象指標2						
活動指標1	防錆必要水利数	基			210	210
活動指標2	防錆処理済水利数	基				
成果指標1	雇用者数	人			3	3
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	1,840	2,887
正職員人件費 (B)		千円	0	0	1,660	1,666
総事業費 (A) + (B)		千円	0	0	3,500	4,553

費用内訳	
21年度	委託料 1,840千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始 背景		事業を 取り巻く 環境変化	
------------	--	---------------------	--

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由
・
根拠は？

水利の腐食等による使用不能の回避と、視認性の向上を目的としたもので、市民の安全を図ることは重要であり、市が行なうことは妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

災害時の水利確保は、火災の消火及び延焼防止の上で大変重要であり、貢献度は大きい。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由
・
根拠は？

予定の数値に達しており、目的である識別の向上が図られている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

コスト及び視認性については、現時点で最良の方法であり、成果向上の余地はない。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由
・
根拠は？

公益法人への委託であり、これ以上のコスト削減は不可能である。